

## 消防本部（消防署）のあり方に関する市民アンケート（案）

アンケート実施の背景	<p>消防・救急業務は市町村が担っていますが、人口減少社会が進展し、財政状況も厳しくなる中、伊賀市のような規模の消防本部（消防署）では、大規模化する災害等への対応や専門職員の養成・確保などには限界があります。</p> <p>将来にわたって市民の皆さまに消防行政サービスを提供していくため、伊賀市では令和2年に『消防本部組織再編計画』を策定し、消防本部（消防署）のあり方について、総合的かつ長期的なビジョンで検討を進めているところです。</p> <p>※詳しくは、伊賀市ホームページ (<a href="https://www.city.iga.lg.jp/0000010003.html">https://www.city.iga.lg.jp/0000010003.html</a>) をご覧ください。</p> <p>なお、消防団のあり方については、別途、『消防団活性化計画』等により検討を進めています。</p>
アンケート実施の目的	<p>『消防本部組織再編計画』は、現在、令和2～6年度の「第1期実行計画」期間中ですが、令和7年度から5年間の「第2期実行計画」を策定するにあたり、市民の皆さまのご意見も伺ったうえで、計画の方向性を決定しようとするものです。</p>
アンケートの概要等	<p>■この調査は、市民のどなたでも回答できます。また、伊賀市 e モニターの皆さんと、市内にお住まいの18歳以上（令和4年9月末現在）の方から無作為に選ばせていただいた2,500人の方には、別途ハガキ等でご協力をお願いしています。</p> <p>■アンケートは、合計 <b>10</b> 問です。ご協力をお願いいたします。</p> <p>■回答時間（目安）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を見ない場合：10分</li> <li>・資料を見る場合：30分</li> </ul> <p>■アンケートの回答は無記名です。</p> <p>■回答いただいた内容は、この調査の目的以外には使用いたしません。</p>

## 【受付期限】

2023（令和5）年 **〇月〇日（〇）** ※消印有効（郵送の場合）

## 【回答方法】

## ①インターネットから回答する場合

次の QR コード又は URL を読み取ってアンケートフォームから回答してください。

(QRコード)



(URL)

<https://logoform.jp/form/KPw2/174173>

②アンケート用紙で回答する場合

アンケート用紙は、市ホームページ (<https://www.iga.lg.jp/~~~~~~>) からダウンロードするか、下記までご連絡ください。

アンケート用紙に回答をご記入のうえ、持参、郵送、ファックス、Eメールのいずれかでお届けください。

**【回答・問い合わせ先】**

〒518-0833 伊賀市緑ヶ丘東町 920 番地

伊賀市消防本部・消防総務課

電話：0595-24-9100 FAX：0595-24-9111

Eメール：[shoubou-soumu@city.iga.lg.jp](mailto:shoubou-soumu@city.iga.lg.jp)

※お問い合わせは、平日の8:30～17:15にお願いします。

I. あなたご自身のことについて

問1. 年齢

① 10代	② 20代	③ 30代	④ 40代
⑤ 50代	⑥ 60代	⑦ 70歳以上	

問2. 職業（複数の場合は主なもの1つ選択）

① 会社員・会社役員	② 公務員	③ 自営業・自由業	④ 嘱託・派遣社員
⑤ パート・アルバイト	⑥ 学生	⑦ 無職（家事に従事する場合を含む）	⑧ その他（ ）

問3. 居住地域（住民自治協議会の区域）

① 上野東部	⑮ 猪田	⑳ 玉滝
② 上野西部	⑯ 依那古	㉑ 丸柱
③ 上野南部	⑰ 比自岐	㉒ 山田
④ 小田	⑱ 神戸	㉓ 布引
⑤ 久米	⑲ 古山	㉔ 阿波
⑥ 八幡町	⑳ 花垣	㉕ 阿保
⑦ 花之木	㉑ ゆめが丘	㉖ 上津
⑧ 長田	㉒ きじが台	㉗ 博要
⑨ 新居	㉓ 柘植	㉘ 高尾
⑩ 三田	㉔ 西柘植	㉙ 矢持
⑪ 諏訪	㉕ 壬生野	㉚ 桐ヶ丘
⑫ 府中	㉖ 島ヶ原	㉛ わからない・その他 〔 町、字（丁目）
⑬ 中瀬	㉗ 河合	
⑭ 友生	㉘ 鞆田	

問3-1. 問3で「㉛ わからない・その他」を選択した方

ご住所の町名などをご記入ください。



【資料1】は伊賀市の消防機関を記載したものです。消防団と消防本部（消防署）の連携について、日頃どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
----	------	----	------	----	-------

問4-7. 問4で「⑥ 消防職員が指導する初期消火訓練や救命講習などへ参加したことがある」と答えた方にお聞きします。

訓練や講習のときの消防職員（救急隊員）の対応はいかがでしたか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
----	------	----	------	----	-------

問4-8. 問4で「⑦ 関わった経験がない」と答えた方にお聞きします。

伊賀市の消防本部（消防署）の組織・体制や業務について、日頃どのように感じていますか？

満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
----	------	----	------	----	-------

### 問5. 消防本部（消防署）の充実度について

【資料2】は、伊賀市消防本部（消防署）の現状や他団体との比較を記載したものです。こちらを参考に、現在の伊賀市消防本部（消防署）の充実度について、あなたの考えをお聞かせください。

	充実していると思う	やや充実していると思う	普通	やや不足していると思う	不足していると思う	わからない
①消防署・分署の数						
②消防職員の数						
③消防車や救急車などの数						

### Ⅲ. 消防本部（消防署）の今後のあり方について

【資料2】及び【資料3】などを参考に、あなたが望ましいと考える伊賀市消防本部（消防署）の組織規模等についてお答えください。

### 問6. 消防本部（消防署）の組織・規模

これからの伊賀市消防本部（消防署）の組織・規模について、あなたのご意見をお聞かせください。また、それぞれの選択肢の関連質問（問6-1など）にもお答えください。

- ① 現状維持でよい  
⇒問6-1へ
- ② 縮小してもよい  
⇒問6-2へ
- ③ わからない・その他  
⇒問6-3へ

問6-1.【理由】(問6で「現状維持でよい」と答えた方)(複数回答)

- ① 現状の消防体制で充実していると考えするため
- ② 将来的には縮小すべきだが、しばらくは高齢化により救急件数等が多いと考えるため
- ③ 縮小すれば救急車などの現場到着時間が遅くなると考えるため
- ④ 大規模災害等に対応する必要があるため
- ⑤ その他 ( )

問6-2.【理由】(問6で「縮小してもよい」と答えた方)(複数回答)

- ① 他団体と比べて、署所・車両・職員の数が多すぎると思われるから
- ② 今後は人口が減少し、市財政も縮小すると思われるから
- ③ 消防よりも、他の行政サービスを充実すべきと考えるから
- ④ その他 ( )

問6-3.【理由】(問6で「わからない・その他」と答えた方)

(理由： )

問7. 消防署(分署)の統廃合について

【資料4】は、伊賀市が策定した『公共施設最適化計画』を抜粋したものです。ここには伊賀地区を管轄する“東分署”と阿山地区を管轄する“阿山分署”の複合化(統廃合)が記載されています。これまでの設問等も踏まえ、消防署(分署)の統廃合に対するあなたのお考えを、次の中から1つ選んでください。

※選択肢にある第2期とは『消防本部組織再編計画・第2期実行計画』(令和7~11年度)をいいます。

※選択肢にある第3期とは『消防本部組織再編計画・第3期実行計画』(令和12~16年度)をいいます。

- ① 第2期で東分署と阿山分署の統廃合を進めるべき
- ② 第2期では東分署と阿山分署の統廃合を進めるべきではない
- ③ 将来的に人口も災害件数も減少すれば、東分署と阿山分署の統廃合を進めてもよい(第3期以降)
- ④ 第2期で東分署と阿山分署以外の分署の統廃合を進めるべき
- ⑤ 第2期ではいずれの分署の統廃合も進めるべきではない
- ⑥ 将来的に人口も災害件数も減少すれば、東分署と阿山分署以外の分署の統廃合を進めてもよい(第3期以降)
- ⑦ わからない
- ⑧ その他 ( )

問8. 消防の広域化について

【資料5】は、三重県が策定した『三重県消防広域化推進計画』を抜粋したものです。ここでは県が示す段階的(3段階)な消防広域化の案が示されています。消防の諸課題を解消するには、広域化が有効な手段であるとして、国や県が推進しようとしているものです。これまでの設問等も踏まえ、消防の広域化に対するあなたのお考えを、次の中から1つ選んで

